

## 「金沢大学重点戦略経費次世代重点研究プログラムセミナー」を開催

2013年9月3日

9月3日（火）にがん進展制御研究所棟4階会議室において、名古屋大学医学研究科分子腫瘍学分野 高橋 隆教授を迎え、「TTF-1/NKX2-1: an enigmatic double-edged sword in the pathogenesis of lung adenocarcinoma」と題して、金沢大学重点戦略経費次世代重点研究プログラムセミナーを開催しました。

セミナーでは、高橋先生の研究グループが発見した肺腺がん発生に関わる癌遺伝子、TTF1による生存シグナル活性化と、TTF1による逆説的な転移抑制というパラドックスを説明する分子機構について、最新の研究成果を紹介して頂きました。一つの分子が、発がん・悪性化過程で複雑な機能を果たすことを示す、とても興味深い内容でした。

セミナーには、所内外の研究者並びに大学院生ら約50名が参加し、とても活発な質疑応答や意見交換が行われました。



次世代重点研究プログラムセミナー

## TTF-1/NKX2-1: an enigmatic double-edged sword in the pathogenesis of lung adenocarcinoma

講演者

名古屋大学大学院医学研究科  
分子腫瘍学分野 教授

高橋 隆 先生

日時：平成25年 9月3日(火) 16:30～17:30

場所：金沢大学がん進展制御研究所 4F 会議室

最近の研究で、特定のlineageの細胞分化の調節機構が、発がんに関与するという概念が確立しています。高橋先生の研究グループは、TTF-1が肺上皮細胞の発生・分化制御因子であるだけでなく、発がんに関与する事を初めて明らかにされました。さらに、TTF-1がROR1の転写活性化を介してがん細胞生存に作用する一方で、MYBPH活性化による転移の抑制に働き、がんに対して両刃の剣として働くことを発見しました (Cancer Cell, 2012, Cancer Cell 2013)。セミナーでは以上の研究内容を紹介して頂きます。

皆様奮ってご参加、ご討論下さい。

連絡先：大島（がん進展制御研究所・腫瘍遺伝学研究分野 内線6760）